

別紙5. 『来館者計測システム 仕様書』

I. 概要仕様

様々な人の動きを数値化し、要因データを併せて分析することができること。

人の形状を立体的に高速処理し、多人数を方向別（IN／OUT）にカウントできること。

また、複数の人の動き（立ち止まり、すり抜け、引き返し、すれ違い、横並び、2列並列）も正確に認識・計数ができること。

II. 機能要件

1. 機器諸元

- (1) 種別：天井埋め込み
- (2) 検出方式：形状認識検知
- (3) 検知素子：1／4インチC-MOSイメージセンサ
- (4) 動作表示：2色LEDランプ×1ヶ
- (5) 検知対象：単独歩行する人
- (6) 設置高：2,300～4,200mm
高所モード時4,200～6,000mm)

(7) 検知計数幅：約0.9m～約5.0

(8) 検知計数方向：IN、OUT2方向

(9) 材質：ABS／PC

(10) 色：白または黒

(11) データ保持

センサ単体にて過去30日の記録データ保持ができること。

また、停電時には当日を含む過去1週間分はデータ保持・時計保持の機能を有すること。

(12) カウント精度

機械制度：±95%以上

運用制度：±97%以上

(13) 停電対策

停電復帰後、自動的にシステムが起動すること。

※停電中の動作は不要とする。

2. 機器台数

- (1) カメラセンサー 3台
- (2) プロセッサ 3台
- (3) HUB 1台

3. 分析アプリケーション機能

- (1) 画面表示機能
 - ・入館人数

- ・退館人数
 - ・平均滞留人数
 - ・平均滞留時間
 - ・最大滞留人数
 - ・最大滞留時刻
 - ・時間帯別
- (2) 帳票出力機能
- ・日報
 - ・週報
 - ・月報
 - ・年報
 - ・期間指定
 - ・イベント ※手入力
 - ・天候 ※手入力
- (3) グラフ表示機能
- ・実数グラフ、増減グラフ、要素（レーダー）、割合（ドーナツ）、相関（プロット）
- (4) 過去データ
- ・蓄積した入館データを過去5年分程度は閲覧・比較可能なこと。

4. 保証内容・期間

- (1) 納入後1年間の修理無償保証及び定期点検(年2回程度)を行うこと。
- (2) 平日施設営業時間内で行うこと。
- (3) 点検はプロセッサが設置されるシャフト内から行うこと。
- (4) 開館時間内で実際にカウントしている動作を確認すること。

5. その他

- (1) センサー取り付け・配線・電源工事の含むこと。
- (2) 来客数カウンター集計用端末、スイッチングハブを含めること。
- (3) 納入後5年間は、運用制度維持・故障交換部品・故障交換作業を網羅したメンテナンス契約を提供できること。

6. 実績

公立図書館で導入実績があること。